

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画(案)

1年 p. 4~17、p.64~65

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
1 うたってうごいて みんなで おんがく (8時間扱い・4~5月)	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○		
			思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能を身に付けている。	○		
	(2) リズム、速度、旋律、強弱、拍、呼びかけとこたえ、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	拍、速度、旋律、リズム、強弱、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○		
(3) 歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、小学校生活の始まりを明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
1	曲想を感じながら楽しく歌ったり、音楽に合わせて体を動かすなどして歌ったりする。	ちょうちょう ほか	○見開きの挿絵を見て、どんな歌が隠されているか探し曲想を感じながら歌ったり、音楽に合わせて体を動かすなどして歌ったりする。	【主-①】 歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2	それぞれの曲のよさや面白さを感じ取り、音楽に合わせて体を動かして、曲の楽しさを見いだす。	◎サンダーバード ほか ◎ゴー アンド ストップ	○それぞれの音楽を注意深く、音楽に合わせて体を動かす。活動を通して曲想や強弱、速度の変化などにも気づき、どうして体の動きが変化したのかを交流する。	【思-①】 それぞれの音楽の、拍、速度、旋律、リズム、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。
1	音楽に合わせて体を動かす活動に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	かもつれっしや	○汽車になったつもりで、拍や速度に合わせて体を動かしながら歌い遊ぶ。	【主-①】 歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
4	わらべうたを歌ったり、歌に合わせて体を動かしたりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しむとともに、設定した条件に基づいて、即興的に言葉を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。	◆ひらいた ひらいた(共通教材)	○拍に合わせて動きながら歌ったり、歌詞に合った歌い方や遊び方を考えて歌ったりする。	【思-②】 「ひらいた ひらいた」の旋律や拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。
		◎わらべうた	○鑑賞音源を聴いて、「まなびリンク」を活用して曲の大まかな感じを捉え、歌詞や遊び方を知り、教え合って遊ぶ。 ○拍を感じ取りながら、言葉遊びをする。	【主-②】 わらべうたを歌ったり、歌に合わせて体などを動かしたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】 設定した条件に基づいて、即興的に言葉を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。
		◆かたつむり(共通教材)	○歌詞の表す情景や気持ちを想像し、付点のはずむリズムを感じながら、曲想に合った歌い方や身振りを考えて歌う。	【知-①】 「かたつむり」の曲想と、拍やリズムなど音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画(案)

1年 p. 18～25

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例	歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
2 はくとリズム  (7時間扱い・6～7月)	(1) 曲想とリズムや拍など音楽の構造との関わりや、身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせてリズム表現する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能  曲想とリズムや拍など音楽の構造との関わりや、身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。  思いに合った表現をするために必要な、互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム打ちしたりする技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。				○
	(2) リズムや拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについての思いをもったり、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりする。	思考・判断・表現  リズムや拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについての思いをもったり、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりしている。			○	
	(3) 拍に合わせていろいろなリズムで表現することや歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズムや拍などに親しむ。	主体的に学習 に取り組む態度  拍に合わせていろいろなリズムで表現することや歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	曲想と、リズムやその反復との関わりについて気付くとともに、拍に合わせて表現する技能を身に付ける。	ぶん ぶん ぶん しろくまの ジェンカ ◎ジェンカ	○「たん」「うん」の手拍子や手合わせを取り入れながら、拍に合わせて「ぶん ぶん ぶん」を歌う。 ○ジェンカのリズムパターンを意識して、鑑賞曲「ジェンカ」を聴く。 ○鑑賞曲「ジェンカ」に合わせて、ジェンカのリズムパターンを打ったり、体の動きで表したりする。 ○「しろくまの ジェンカ」を、ジェンカのリズムパターンを打ったり、ステップをしたりしながら歌う。	【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、互いの声や伴奏を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム打ちしたりする技能を身に付けている。 【知-①】 「ジェンカ」の曲想と、リズムやその反復など音楽の構造との関わりについて気付いている。 【主-①】 拍に合わせてリズムで表現することや歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2	リズムの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	☆たん と たた のリズムで あそぼう	○「たん」と「うん」のリズム打ちでまねっこしながら音遊びをする。 ○「たん」と「うん」を組み合わせたリズムをつくる。 ○つくったリズムを友達とつなげて発表をする。 ○体のいろいろなところを打ってリズムを表現する。	【知-②】 身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。 【思-①】 リズムや拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。 【技-②】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。
2	いろいろなリズムを表現したり歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	おさるの だいくさん	○「おさるの だいくさん」の面白いところや歌詞の様子を思い浮かべながら歌う。 ○「たん」と「たた」のリズムや自分でつくったリズムを打ちながら、拍にのって歌う。	【主-②】 拍に合わせて歌詞の様子を思い浮かべながら歌うことやいろいろなリズムで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画(案)

1年 p.26～27

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「うみ」(共通教材)  (2時間扱い・7月)	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
	(2) 拍や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○			
	(3) 情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
<p>1. 範唱を聴き、旋律のもつリズム、3拍子の流れ、フレーズを意識しながら歌う。</p> <p>2. 歌詞が表している様子や気持ちについて話し合う。(言葉から情景を十分に想像する。)</p> <p>【知-①】 「うみ」の曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。</p> <p>【主-①】 「うみ」の歌詞の情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>3. 3拍子の流れにのり、気持ちを込めて歌う。</p> <p>【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。</p> <p>【思-①】 「うみ」の拍(3拍子)や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。</p>

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画(案)

1年 p.28～31

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
3 どれみとなかよし (4時間扱い・9月)	(1) 曲想と音階など音楽の構造との関わり気付くとともに、音高を体などで表現する活動などを通して、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付ける。	知識・技能 曲想と音階など音楽の構造との関わり気付いている。 音高を体などで表現する活動を通して、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。				○
	(2) 音階、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現 音階、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	(3) 階名で表現したり、体などを動かしながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、階名に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度 階名で表現したり、体などを動かしながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と音階などとの関わり気付くとともに、階名で表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎どれみのうた	○「どれみのうた」を歌いながら聴き、階名に親しむ。 ○「どれみのうた」を、音高に合わせて体を動かしながら聴く。	【主-①】階名で表現したり、体などを動かしながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-①】「どれみのうた」の曲想と、音階など音楽の構造との関わり気付いている。
2	階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けるとともに、音階、旋律、変化などを聴き取り、曲想を感じ取って表現を工夫する。	どれみのキャンディー	○「どれみのキャンディー」の最後の部分に合わせて、〈どれみのたいそう〉をしながら歌う。 ○「どれみのキャンディー」に合った動きや歌い方を工夫して歌う。	【技-①】音高を体などで表現する活動を通して、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。 【思-①】「どれみのキャンディー」の音階、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画(案)

1年 p.32～39

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈こんにちは けんぼんハーモニカ〉 (4時間+毎時 9～10月)	(1) 鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、思いに合った表現をするために必要な、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。 鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、思いに合った表現をするために必要な、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) 旋律、速度、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律、速度、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○		
	(3) 鍵盤ハーモニカで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	鍵盤ハーモニカで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○		

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】

1. どんな おとが するのかな
  - ・息を吹き込む ・ためしてみよう①音の高さ ・ためしてみよう②音の長さ ・ためしてみよう③息の強さ
  - 【知-①】 鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。
2. 「ど」のおとであそぼう
  - ・「ど」の位置を確認～タンギングを覚える。
  - ・「どこどこ」で活動する。
  - 【技-①】 「ど」の鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能を身に付けている。
  - ・「まほうのど」を、伴奏に合わせて演奏する。
  - 【思-①】 「まほうのど」の旋律、速度、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。
3. 「どれみ」のおとであそぼう
  - ・「どれみ」の鍵盤の位置を確認する。
  - ・「どんぐりころりん」で活動する。
  - 【主-①】 鍵盤ハーモニカで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
4. 「どれみふあそ」のおとであそぼう
  - ・5本の指の動きを確認する。
  - ・「どんぐりぐりぐり」を演奏する。
  - 【技-②】 鍵盤ハーモニカの扱い方や「どれみふあそ」の鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、思いに合った表現をするために必要な、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付けている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画(案)

1年 p. 40～41

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
4 うたの もりあがり (2時間扱い・10月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律や音階などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律や音階などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
(3) 歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と旋律や音階、歌詞との関わりに気付くとともに、曲想を感じ取って表現を工夫する。	◆ひのまる(共通教材)	○「ひのまる」を歌詞で歌う。 ○体を動かしながら階名唱する。 ○旋律のまとまりを感じ取って歌う。 ○盛り上がりを感じながら歌う。	【主-①】「ひのまる」の歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。 【思-①】「ひのまる」の旋律や音階などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【知-①】「ひのまる」の曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画(案)

1年 p.42～45

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
5 ねいろとつよさ (7時間扱い・11～12月)	(1) 打楽器の音やそれらのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いたり、曲想と音色や強弱などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたり、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくり出す技能を身に付ける。	知識・技能	打楽器の音やそれらのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いたり、曲想と音色や強弱などの音楽の構造との関わりについて気付いたりしている。			○	○
			発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたり、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくり出す技能を身に付けている。			○	
	(2) 音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いたりする。	思考・判断・表現	音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いたりしている。			○	○
(3) 様々に試しながら打楽器の音の特徴を見付ける学習などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、様々な楽器の音に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	様々に試しながら打楽器の音の特徴を見付ける学習などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	打楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いたり、音遊びを通して、音楽づくりの発想を得たりする。	☆いろいろな おとを みつけよう	○トライアングルで様々に試しながら音を出したり、様々な音の特徴を探したりして、お気に入りの音を見つける。 ○いろいろな楽器で様々に試しながら音を出したり、様々な音の特徴を探したりして、お気に入りの音を見つける。 ○お気に入りの音を使って、友達と音をつなげたり、音楽の簡単な終わりを考えたりする。	【思-①】 音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。 【知-①】 打楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。
4	音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けるとともに、音色や強弱など聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取ったり、曲や演奏の楽しさを見だしたりして、曲全体を味わって聴く。	つよさに きをつけて がつきを うったり きよくを きいたりしよう ◎ぜんそうきよく	○打楽器で見つけたお気に入りの音を使って、呼びかけたりこたえたりする。 ○「ぜんそうきよく」を、強弱や打楽器の音色などに気を付けながら聴く。 ○「ぜんそうきよく」を聴いて、曲や演奏の面白いと思ったり楽しいと思ったりして、友達に伝えたり、言葉などで記述したりする。	【主-①】 打楽器の音色や演奏の仕方などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-②】 打楽器の音やそれらのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 【技-②】 思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。 【思-②】 音色や強弱、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもっている。 【知-③】 曲想と音色や強弱などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 【思-③】 「ぜんそうきよく」の音色や強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だして聴いている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画(案)

1年 p.46～49

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例	歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞	
6 うたで まねっこ (4時間扱い・1～2月)	(1) 曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
			思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けている。	○			
	(2) フレーズや呼びかけとこたえなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	フレーズや呼びかけとこたえなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	(3) 聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、交互唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と呼びかけとこたえなどとの関わりに気付くとともに、聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	もりのくまさん	○「もりのくまさん」を、いろいろな強さを試しながら交互唱する。 ○1～5番それぞれの歌詞の内容を考えながら、どのように歌うか意見を出し合って試す。	【知-①】 「もりのくまさん」の曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】 聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2	声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けるとともに、交互唱の面白さを感じ取りながら表現を工夫する。	フルーツ ケーキ	○「フルーツ ケーキ」を、打楽器を加えて歌う。 ○歌う強さをまねたり、違う強さで歌ったりして交互唱する。	【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けている。 【思-①】 フレーズや呼びかけとこたえなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「フルーツ ケーキ」の曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。



令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画(案)

1年 p.50～51

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈おとの スケッチ〉 ねこの なきごえで あそぼう (3時間扱い・1～2月)	(1) 曲想と、音色や強弱、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりについて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、音色や強弱、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりについて気付いている。 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。	○		○	
	(2) 音色や強弱、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	音色や強弱、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。			○	
	(3) いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中の様々な音や音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】

1. ねこのいろいろな鳴き声を出すことを試しながら、友達と呼びかけとこたえの仕組みを使って音遊びをする。  
**【思-①】** 音色や強弱、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。
- 【技-①】** 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。
2. 「2ひきのねこのゆかいなうた」を聴き、2匹のねこがおしゃべりしていることを聴き取る。またそのなかで、いろいろな鳴き方の声があることに気付く。  
**【知-①】** 「2ひきの ねこの ゆかいなうた」の曲想と、音色や強弱、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりについて気付いている。
3. 「ねこの おはなし」を歌い、呼びかけとこたえの仕組みでできている部分があることに気づき、いろいろな鳴き声の表情で歌い方を試す。  
**【主-①】** いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画(案)

1年 p.52～54

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
7 おんがくのながれ (3時間扱い・1～2月)	(1) 曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 曲想を感じ取ったり、音楽が表している情景を想像して聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を感じ取ったり、音楽が表している情景を想像して聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりに気付くとともに、音楽が表している情景を想像して聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎おどる こねこ	○拍の流れや、鳴き声に合わせて体を動かしながら、「おどる こねこ」を聴く。 ○「おどる こねこ」の曲の進み方を知る。	【主-①】「おどる こねこ」の曲想を感じ取ったり、音楽が表している情景を想像して聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-①】「おどる こねこ」の曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりに気付いている。
1	旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎おどる こねこ	○曲のよいところ、面白いところを見つけながら、「おどる こねこ」の曲全体を聴く。	【思-①】「おどる こねこ」の、旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画(案)

1年 p.55

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈めざせ がっきめいじん〉 「すずめが ちゅん」 (毎時扱い)	(1) 曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付いている。		○		
	思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付けている。			○			
	(2) 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○		
(3) 楽器を演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器を演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○			

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】

1. 範唱を聴き、曲想を捉えて歌う。  
【知-①】「すずめが ちゅん」の曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付いている。
2. 鍵盤ハーモニカで演奏する。  
【技-①】思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付けている。
3. 鳴き声に合った音の長さで演奏する。  
【思-①】「すずめが ちゅん」の旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。  
【主-①】「すずめが ちゅん」を楽器で演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画(案)

1年 p.56～57

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞	
8 みんなのおんがく (2時間扱い・2～3月)	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりやリズムのつなげ方や重ね方の特徴に気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
			思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。	○		○	
	(2) 拍やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	拍やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもっている。	○			
	(3) 歌詞の表す情景を想像しながら歌ったり、リズムを感じて表現したりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞の表す情景を想像しながら歌ったり、リズムを感じて表現したりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	声を合わせて歌う技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けるとともに、曲想とリズムなどとの関わりに気付く。	おもちゃのチャチャチャ ☆リズムをかさねてあそぼう	○「おもちゃのチャチャチャ」を、曲の気分を感じ取り、歌詞の表す様子を考えながら、リズム打ちして歌う。 ○「おもちゃのチャチャチャ」を、互いの声や伴奏を聴いて歌う。 ○リズムを重ねて遊ぶ。	【知-①】「おもちゃのチャチャチャ」の曲想と、リズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】「おもちゃのチャチャチャ」の歌詞の表す情景を想像しながら歌ったり、リズムを感じて表現したりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。 【思-①】「おもちゃのチャチャチャ」の拍やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもっている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画(案)

1年 p.58～59

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈おとの スケッチ〉 ほしの おんがくをつくらう  (2時間扱い・3月)	(1) 旋律の特徴について、それが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	旋律の特徴について、それが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
			発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(2) 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもっている。			○	
(3) 短い旋律をつくったり、それをつなげたり重ねたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、旋律や音の重なりに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	短い旋律をつくったり、それをつなげたり重ねたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
<p>導入 音楽ゲームをする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「きらきらぼし」を歌ったり、楽器で演奏したりする。</li> <li>「きらきらぼし」を2小節ずつ交代しながら鉄琴と鍵盤ハーモニカで演奏する。</li> <li>「どれみのせいざ」で星の音を選び、自分の旋律をつくる。  <b>【知-①】</b> つくった旋律の特徴について、それが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。  <b>【主-①】</b> 短い旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</li> <li>つくった旋律のリズムを変化させる。  <b>【技-①】</b> 発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。  <b>【思-①】</b> 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもっている。</li> </ol>